

Web応用

第1回 WebページとHTML5

# 第2章 受講するにあたって

# 第2章 学習目標

受講するにあたって、必要なものを理解する。

# 講義項目

この章の講義項目は次の通り。

1. PC・ブラウザ
2. テキストエディタ・FTPソフト
3. 受講上の注意

## 第2章 受講するにあたって

### 1. PC・ブラウザ

# 1-1. PC

一般に使われているPCの例。

- Macintosh
- Windows

本講義では、どちらを使用してもよい。

ただし、**各PCの基本的な操作手順はあらかじめ理解**しておくこと。

また、PCは最良の状態に調整しておくこと。

## 1-2. ブラウザ

一般に使われているブラウザの例。

- **モダンブラウザ** (対応の進んでいるブラウザ)

Google chrome、firefox、Microsoft Edge、Safari 他

- **レガシーブラウザ** (対応の不足しているブラウザ)

Internet Explorer 11 他

ブラウザ毎にHTML5への対応状況には差がある。  
本講義では、**Google chrome**を使用する。

## 第2章 受講するにあたって

### 2. テキストエディタ

# 2-1. テキストエディタ(1)

Windows用のテキストエディタの例。

- TeraPad
- さくらエディタ
- 秀丸



# 2-1. テキストエディタ(2)

Macintosh用のテキストエディタの例。

- mi
- CotEditor

## 2-1. テキストエディタ(3)

WindowsでもMacintoshでも使えるテキストエディタの例。

- Dreamweaver
- Atom
- Sublime Text
- Visual Studio Code

## 2-1. テキストエディタ(4)

- **UTF-8の文字コード**でファイル保存でき、**行番号が表示**されているもの。
- 信頼できるダウンロードサイトでテキストエディタを探し、手に馴染むもの。
  - ベクター： <http://www.vector.co.jp/>
  - 窓の杜： <http://forest.watch.impress.co.jp/>
- 最低限「新規ファイル作成」「編集・テキスト入力」「ファイル保存」などの**基本的な操作については理解**しておくこと。

## 2-2. FTPソフト

ファイルをサーバに転送するためのソフト。  
世界中に自分のアプリケーションを公開することができる。

FTPソフトの例

- Cyberduck、WSCP、FFFTP、FileZilla 等  
こちららも、信頼できるダウンロードサイトで探すとよい。

本講義では、**Cyberduck** を使用する。

## 第2章 受講するにあたって

### 3. 受講上の注意

## 3-1. 受講上の注意

- 本講義は、積極的に手を動かして実際にアプリケーションを制作する。
- 将来へつなげるため、制作サンプルは多めに提供し、可能性を広げる。
- 「作り方」を学ぶという受け身ではなく、  
**「自分だったらどんなアプリケーションを作ろうかな！」という動機**を持ちながら受講して欲しい。

## 第2章 まとめ

- 受講するにあたって、**PC、ブラウザ、テキストエディタ**が必要。
- なんでもいいのではなく、それぞれ必要な条件がある。
- 「自分だったらどんなアプリケーションを作ろうかな！」という動機が大事。  
ということが理解できた。

Web応用

第1回 WebページとHTML5

第2章  
受講するにあたって  
終わり